

# 若手研究者渡航費助成金 応募要領 (改訂)

2010.3.13 改訂

## (1) 趣旨 <<若手研究者渡航費助成金 (旧・京極記念基金) 設立の経緯>>

我が国の生体系 NMR 研究の基盤強化に多大な貢献を果たされ、また本学会の創立時に理事を務められた故京極好正大阪大学名誉教授のご遺族より、本学会の若手会員の海外における NMR 国際学会への渡航援助のためにご寄付をいただきました (2004 年)。理事会では、ご遺族の意思を尊重し、「京極記念基金」を創設して若手 NMR 研究者に、本学会の指定する生体系 NMR 関連国際学会への参加登録費用、及び渡航・滞在費用の一部を援助して参りました。2007 年には、LA システムズ社、故阿久津政明氏のご遺族より本基金にご寄付をいただきました。これを機会に、上記基金を「若手研究者渡航費助成金」に衣替えして渡航援助の枠を生体系 NMR から NMR 一般に広げることにいたしました。

本学会では今後、NMR 研究を行う若手研究者が海外で行われる国際会議 (学会・シンポジウム等) で自分の研究成果を発表する場合、あるいは NMR Practical course 等の測定・解析技術の実践を学ぶ学術集会へ出席する場合の渡航費を補助します。NMR 関連会議等の他、生物・化学・物理系、材料・高分子系など基礎科学から応用科学の海外国際会議等の NMR 関連研究発表への渡航助成についても広く募集します。

## (2) 応募対象の国際会議

NMR に関するすべての国際学会、研究集会

## (3) 応募資格

\*応募時に会費納入済みの日本核磁気共鳴学会会員であり、35 歳以下であること。

\*大学院生 (博士課程後期に在籍)、博士研究員、及びそれに準ずる者。

\*他の旅費補助金を受けていないこと (本助成金で足りない部分を研究室等で補填するものは可とする)。

\*所属する研究室において希望者を選考し、同じ国際会議に対して 1 名のみ応募すること。

## (4) 応募方法

### 1. 応募書類

\*簡単な履歴書 (生年月日、会員番号および学会発表・論文リスト含む) (書式は自由)

\*国際会議の内容がわかる会議案内のコピーおよび会議 HP の URL

\*発表要旨 (書式は自由)

上記のものを電子メールの添付ファイル (pdf 形式または Word 形式) で送付すること。

### 2. 応募期間

国際会議の開催時期に応じて、年に 3 回募集を行う。

(A) 7-10 月開催の学会は 4 月 1 日-5 月 15 日を募集期間とする。

(B) 11-2 月開催の学会は 8 月 1 日-9 月 15 日を募集期間とする。

(C) 3-6 月開催の学会は前年の 12 月 1 日-1 月 15 日を募集期間とする。

### 募集のタイムスケジュール

|   | 4月   | 5月 | 6月 | 7月   | 8月 | 9月 | 10月 | 11月  | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|------|----|----|------|----|----|-----|------|-----|----|----|----|
| A | 募集   |    |    | 開催期間 |    |    |     |      |     |    |    |    |
| B |      |    |    |      | 募集 |    |     | 開催期間 |     |    |    |    |
| C | 開催期間 |    |    |      |    |    |     |      | 募集  |    |    | 開催 |

### 3. 応募書類送付先

若手研究者渡航費助成金選考委員長 三森文行 (mitumori@nies.go.jp)

#### ■選考方法

若手研究者渡航費助成金選考委員会において、応募締切日までに受け付けた応募者から A, B, C 各期に若干名の援助金受領者を選考し、その結果を会長名で本人宛て通知します。また受領者は NMR 討論会において賞状をもって顕彰します。採択件数は年間 5 名程度とします。

#### ■助成額

助成額：1 件あたり 10 万円

助成金の贈呈は参加報告書提出後となります。

■報告の義務

援助金受領者は参加した国際会議等の参加報告書（書式は NMR ニュースレターの投稿規定に従うこと）を帰国後 1 ヶ月以内に選考委員長宛に提出してください。NMR ニュースレターおよび学会ホームページで参加報告書を公開します。

[受領者参加報告書一覧](#)

[過去の募集案内 \(NMR ニュースレター\)](#)